

# ハーブを通じた地域活性化プロジェクト

## 企業と自治会の連携による食・農・医のまちづくり —株式会社香寺ハーブ・ガーデン—

### 一 高齢者の経験を生かした地域活性化

姫路市にある香寺ハーブ・ガーデン株式会社では、農薬や除草剤を使用せず自然に近い状態で育てたハーブと、地元播磨の地域資源とを組み合わせて、化粧品や食品等の製造販売、抽出・発酵技術の研究開発を行っている。同社が近年力を入れているのが、商品であるハーブの生産を通じた地域活性化プロジェクトだ。

同市夢前町の山之内地区は、高齢化率が46.3%に上り、若い世代が流出している状況にあった。平成23年、香寺ハーブ・ガーデン代表取締役社長の福岡譲一さんは、前年に廃校となった山之内小学校をできるだけ元のまま残して利用することを考え、校舎をハーブ関連製品の研究施設としてよみがえらせた。さらに、地区内の荒廃した耕作放棄地で、高齢者にその経



小学校を活用した同社の夢前工場

験や技術を生かして草刈りや収穫等のハーブの生産に関わってもらい、生産したハーブを同社で全て買い取り、企業や医療関係者等に送る仕組みを作り上げた。「年に数回帰ってきてくれる孫にお小遣いをあげたい」という、地域の高齢者からのささやかな願いがきっかけとなった取り組みだ。

### 一 自治会と連携して食・農・医の融合を

福岡さんは、「食べることによって病を治す」という、古代ギリシャの医学者ヒポクラテスの考えに基づき、農と医と食の融合を目指す「ヒポクラテス・ブレッド構想」を、この山之内地区で実現させたいと考えている。その人に合った食事や適度な運動、土に触れることなどによって、さらなる健康増進を図ろうとするものだ。昨年10月には、山之内連合自治会と連携協定を結び、むらびらきイベント「食と農と医のシンポジウム in 山之内」を開催した。

今後は、Uターン・Iターンしてきた若者が農業で食べていけるよう、農業のイノベーション（技術革新）を考えているほか、廃校・廃園となった幼稚園や小学校の建物を活用したレストラ



地域の人みんなでシャボン玉を飛ばそう!  
(むらびらきイベントの様子)

ンやカフェを作るなど、豊富な地域資源に着目した観光にも力を入れていきたいと考えている。

「この地域を守っていくための基盤を作り、若者たちにバトンをつなぎたい。地域と連携しながら今ある美しい自然を生かし、ハーブを使った商品が地域活性化のお役に立てればということが、私の大きな願いです」と語る福岡さん。企業が持つ最先端の技術と、日本の良き文化・食習慣・精神性を融合させながら、東西4キロ・南北8キロの広い山之内地区を「元気を発信できる町」にすることを目指した同社の取り組みはこれからも続く。

株式会社香寺ハーブ・ガーデン

所在地 姫路市香寺町矢田部689-1

TEL 079-232-7316

URL <http://www.koudera-herb.com/>